

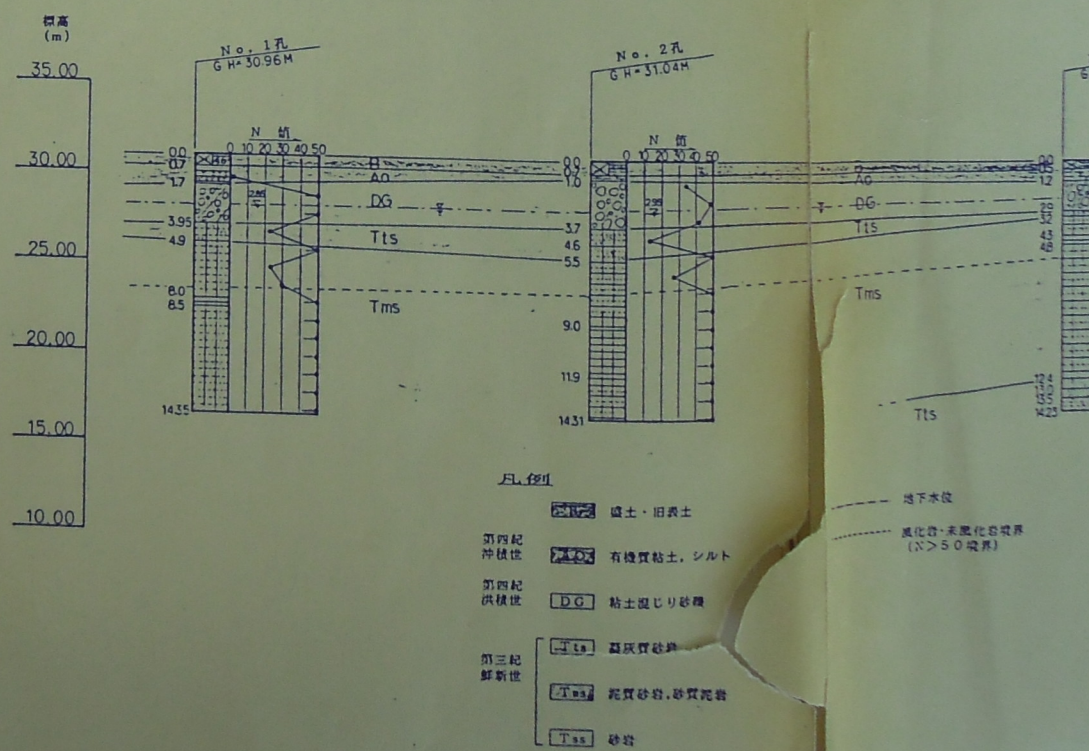
(注) ●印 No. 1, 2, 3, 本調査地点
 ●印 前回調査地点 (S2, 6調査)
 A-A' ~ C-C' 地質断面線

※備考
 K.B.M.は岩末に添付する基準点A291 (仙台市若林区荒町86番地 旧仙台公共興業安定所前の舗道上) GH=31.000mを基準として設けた。

第 3 図		(仮称) 仙台市立病院救急センター新築に伴う地盤調査業務委託			地質柱状図		DV No. 3			
調査地点	仙台市若林区清水小路3番地の1			調査日	平成 元年 4月20日		3日間	施工	光洋建設株式会社	
調査月日	平成 元年 4月18日			調査目的	建築基礎地盤調査		試験機種類	東邦機D-1型	現場責任者	丸川忠幸
調査深度	14.0m			調査方法	ロータリー式		原動機種類	ヤマハMF900型	ボーリング班長	鈴木武
調査孔径	φ 66 mm			サンプリング	オールコア採取		孔内水位	W.G.L.-2.15m	地質責任者	丸川忠幸
地盤標高	E.L. 30.94m									

月	日	深	層	土質記号	土質名	色	事	標準貫入試験 (JIS A 1219)				引張試験 試験採取 方向	試験深度 (m)	
								深	貫入	打撃回数	修正N値			
0	00.98	0.0												
1	00.29	0.70	0.70		硬土	暗灰	アスファルト5cm, 多量のコンクリート片, 礫を含む粘性土							
2	00.29	1.70	1.00		有機質粘土	灰	0.7-0.8mm篩留り砂質粘土で旧表土, 0.8mmより含水比10%程度, アスファルト片を多く含む	1.45	2	1/15	1/14			
3	27.01	3.05	2.25		粘土凝り砂	暗灰	粘土凝り砂を主体に最大径150mmの安山岩質砕石を60-70%含む。マトリックスは粘土凝り砂	2.34	50/19	20	30/19			
4	27.01	3.05	2.25		赤褐色	暗灰	マトリックスは粘土凝り砂の間に赤褐色の細粒を多く含む	3.44	50/25	16	16	18/18		
5	26.04	4.00	0.95		凝灰質砂	赤褐	凝灰質の細粒を多く含む。酸化が顕著にはみられる	4.15	23	8	7	8		
6	26.04	4.00	0.95		凝灰質砂	赤褐	粒子は角形砂-細砂質で泥質部分が存在する。泥質は少なく酸化により黄褐色を呈しているが、全体としては砂質部分が優勢である。また全体に軽石粒を点状に含む	5.15	50/25	19	22	9/5		
7	26.04	4.00	0.95		泥質砂	暗灰	アスファルト片を多く含む。マトリックスは粘土凝り砂	6.15	23	7	7	9		
8	26.04	4.00	0.95		暗褐色	暗灰	アスファルト片を多く含む。マトリックスは粘土凝り砂	7.45	30	7	9	14		
9	26.04	4.00	0.95		泥質砂	暗灰	アスファルト片を多く含む。マトリックスは粘土凝り砂	8.15	50/21	20	24	6/1		
10	26.04	4.00	0.95		赤褐色	暗灰	5.4-6.5mm, 6.9-7.4mm間黄褐色を呈し、部分的に酸化している黒褐色の粗粒を多く含む	8.15	50/19	30	20/5			
11	26.04	4.00	0.95		泥質砂	暗灰	13.0mm以上より、砂質部の割合少なく、やや粗粒質となっている	10.15	50/19	29	21/4			
12	26.04	4.00	0.95		赤褐色	暗灰		11.35	50/22	19	25	6/2		
13	26.04	4.00	0.95		赤褐色	暗灰		12.20	50/14	20	21/4			
14	16.71	14.25	5.8		赤褐色	暗灰		13.15	50	8	14	20		
15	16.71	14.25	5.8		赤褐色	暗灰		14.15	50/20	22	28			

図-1 地質断面図① 縮尺 1:200
 (A-A' 断面)



第 1 図		(仮称) 仙台市立病院救急センター新築に伴う地盤調査業務委託			地質柱状図		DV No. 1 孔			
調査地点	仙台市若林区清水小路3番地の1			調査日	平成 元年 4月19日		3日間	施工	光洋建設株式会社	
調査月日	平成 元年 4月18日			調査目的	建築基礎地盤調査		試験機種類	東邦機D-1型	現場責任者	丸川忠幸
調査深度	14.0m			調査方法	ロータリー式		原動機種類	ヤマハMF900型	ボーリング班長	鈴木武
調査孔径	φ 66 mm			サンプリング	オールコア採取		孔内水位	W.G.L.-2.86m	地質責任者	丸川忠幸
地盤標高	E.L. 30.96m									

月	日	深	層	土質記号	土質名	色	事	標準貫入試験 (JIS A 1219)				引張試験 試験採取 方向	試験深度 (m)
								深	貫入	打撃回数	修正N値		
0	00.98	0.0											
1	00.29	0.70	0.70		硬土	暗灰	アスファルト5cm, 多量のコンクリート片, 礫を含む粘性土						
2	00.29	1.70	1.00		有機質粘土	灰	0.7-0.8mm篩留り砂質粘土で旧表土, 0.8mmより含水比10%程度, アスファルト片を多く含む	1.45	2	1/15	1/14		
3	27.01	3.05	2.25		粘土凝り砂	暗灰	粘土凝り砂を主体に最大径150mmの安山岩質砕石を60-70%含む。マトリックスは粘土凝り砂	2.34	50/19	20	30/19		
4	27.01	3.05	2.25		赤褐色	暗灰	マトリックスは粘土凝り砂の間に赤褐色の細粒を多く含む	3.44	50/25	16	16	18/18	
5	26.04	4.00	0.95		凝灰質砂	赤褐	凝灰質の細粒を多く含む。酸化が顕著にはみられる	4.15	23	8	7	8	
6	26.04	4.00	0.95		凝灰質砂	赤褐	粒子は角形砂-細砂質で泥質部分が存在する。泥質は少なく酸化により黄褐色を呈しているが、全体としては砂質部分が優勢である。また全体に軽石粒を点状に含む	5.15	50/25	19	22	9/5	
7	26.04	4.00	0.95		泥質砂	暗灰	アスファルト片を多く含む。マトリックスは粘土凝り砂	6.15	23	7	7	9	
8	26.04	4.00	0.95		暗褐色	暗灰	アスファルト片を多く含む。マトリックスは粘土凝り砂	7.45	30	7	9	14	
9	26.04	4.00	0.95		泥質砂	暗灰	アスファルト片を多く含む。マトリックスは粘土凝り砂	8.15	50/21	20	24	6/1	
10	26.04	4.00	0.95		赤褐色	暗灰	5.4-6.5mm, 6.9-7.4mm間黄褐色を呈し、部分的に酸化している黒褐色の粗粒を多く含む	8.15	50/19	30	20/5		
11	26.04	4.00	0.95		泥質砂	暗灰	13.0mm以上より、砂質部の割合少なく、やや粗粒質となっている	10.15	50/19	29	21/4		
12	26.04	4.00	0.95		赤褐色	暗灰		11.35	50/22	19	25	6/2	
13	26.04	4.00	0.95		赤褐色	暗灰		12.20	50/14	20	21/4		
14	16.71	14.25	5.8		赤褐色	暗灰		13.15	50	8	14	20	
15	16.71	14.25	5.8		赤褐色	暗灰		14.15	50/20	22	28		

第 2 図		(仮称) 仙台市立病院救急センター新築に伴う地盤調査業務委託			地質柱状図		DV No. 2 孔			
調査地点	仙台市若林区清水小路3番地の1			調査日	平成 元年 4月22日		6日間	施工	光洋建設株式会社	
調査月日	平成 元年 4月22日			調査目的	建築基礎地盤調査		試験機種類	東邦機D-1型	現場責任者	丸川忠幸
調査深度	14.0m			調査方法	ロータリー式		原動機種類	ヤマハMF900型	ボーリング班長	鈴木武
調査孔径	φ 66 mm			サンプリング	オールコア採取		孔内水位	W.G.L.-2.86m	地質責任者	丸川忠幸
地盤標高	E.L. 30.96m									